

「雨はお好きですか」

「雨はお好きですか」と聞かれたら、私は少し困ってしまいます。髪は湿気でうねり、体もなんとなくだるく感じます。できることなら晴れていてほしい・・・ずっとそう思って過ごしてきました。

そんな私に、「私は小さい頃から雨が大好きなんです！」と目をキラキラさせて話してくださったのが、学校看護職員のOさんでした。雨の日には空を仰いで雨を見るのが楽しみなのだそうです。さらに、Oナースはこうおっしゃいました。

「雨にはね、長いのと短いのがあるんですよ。空から落ちてくる雨を見ていると分かるんですよ。」

そんな視点を持ったことがなかった私は、すっかり興味をひかれ、それ以来、雨の日には空を見上げるようになりました。けれど、何度見ても雨の線は見えません。ただ灰色の空が広がっているだけで、目を細めても分からないのです。「もしかして老眼のせい？」と、あきらめかけました。

ところがある日、ふと気付きました。空を背にして見ると、灰色の雲にまぎれて雨が見えにくいのです。でも、木を背景にしてみたところ、雨の細い線がはっきりと見えてきました。その瞬間、「ああ、本当に雨って“線”なんだ」と思いました。

とはいえ、Oナースのように、長い雨と短い雨を見分けるには、まだまだ修行が必要です。長い雨は落ちるスピードが違うのか、粒の大きさなのか、じっと見てもなかなか違いがつかめません。それでも、学校の駐車場で皆さんを待っている間、そんな時間がとても楽しく感じられます。雨の音を聞きながら、空を見上げて雨の形を探すひとときが、今ではささやかな楽しみになっています。

最近、私はレインコートと長靴を新調しました。撥水効果抜群のコートと、水たまりにも負けない黒のブーツです。不思議なことに、次の雨が待ち遠しくなりました。またあの木を背に、雨の線を見分ける練習をしようと思っています。 (網代)

